



# さくら 2007 夏

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 16 号  
〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 100才のお祝い会



平成19年7月14日に麻機園に入所されている川村みや様が100歳を迎えられました。

数日前からこの日をとても楽しみにされており、当日の朝も「今日だね!」と、自分で服を選んでいました。お化粧品をしてもらい、髪は以前から希望していたカールを施して、おしゃれな服を着てお祝い会に臨みました。

会う人みんなに「おめでとう」「今日はきれいだね」と言われ、とても嬉しそうでした。「今日はお忙しい中ありがとうございました。皆さんにお礼を申し上げます」としっかりと挨拶をして車椅子から立ち上がり、バースデーケーキのろうそくの火を消しました。

夕方、お化粧品を落とすと「今日は化けたから落とすのも大変だね」と茶目っ気のある一言を返してくださいました。

昨年麻機園に入所され、100歳と思えないほど益々お元気になりました。これからも今日のようなお元気な姿でいて下さるよう、私たちがケアをさせて頂きたいと思いました。みやさん100歳おめでとうございます。

麻機園 寮母 木村 文

## 「夏祭り」へのお誘い

いよいよ暑い夏の到来です。今年も『東桜会夏祭り』を開催します。

毎年ゲームや食べ物の出店が並び、大好評! 今年はさらにお祭りの定番「たい焼き・たこ焼き」の出張販売もあります。

職人が焼くアツアツを、ハフハフしながら・・・  
ほら、もう汗が出てきそうでしょう?  
暑くなったらかき氷でひんやり。

もちろん、「麻機太鼓」の披露もごさいます。  
入所者のみなさまが、ご家族・職員とふれあう楽しい祭になりますよう・・・  
ご家族の皆様の御来園を心よりお待ちしております。

夏祭り実行委員 寮母 佐藤勝洋

開催日 8月4日(土)

時刻 午後4時～6時頃迄  
場所 ケアハウス桜花玄関前、駐車場  
雨天時 麻機園さくらの広場  
アトラクション: 麻機太鼓  
ゲーム : ひも引きゲーム、金魚すくい  
箱の中身はなんだろうな?  
シャボン玉、  
食べ物 : たこ焼き、たい焼き、かき氷  
焼きそば、焼き鳥  
移動売店など  
利用者作品展 : 桜花ヘルパーステーション



## 体験してみませんか?

デイサービス(一般型・認知症対応型)では、一日お試し利用をしています。食事、送迎等もちろん無料です。是非一度、「209-2619」までお電話ください。

デイサービス主任 松下久美子

# 認知症対応型通所介護事業開設10年

～振り返ってみると～

早いもので認知症対応型通所介護事業 当時デイサービスE型 が始まって10年目。この部屋に訪れて頂いた方々に、教えて頂くことが本当にたくさんありました。その笑顔にどれだけ助けられたかわかりません。

私がこの仕事に就こうと思ったきっかけは、祖母の死でした。笑顔の素敵な祖母が認知症を患い、次第にその笑顔が失われて行ったのを今も覚えています。私は認知症の祖母を受け入れる事が出来ないまま、祖母の死を迎える事になってしまい、何もしてあげられなかった自分をとて悔いました。認知症に対して無知で、受け入れることが出来なかった事を数か月間辛く思っていました。ある日（老人に関わる仕事に就きたい）と思ったその時から、とんとん拍子に麻機園への就職が決まり、翌年には認知症専門のデイサービスに配置されることになりました。（ここなら祖母にしてあげられなかった笑顔を取り戻す事を、してあげられるかもしれない）

そう意気込んで10年。私は朝、この部屋に着くといつも思います。「今日来てくれた人達に一度でも心から笑ってもらおう、楽しいと笑ってもらおう、その為に何でもしよう」と。

私達は、いつも準備万端整えて皆様をお持ちしています。



デイサービス認知症対応型  
主任 山本明美

## 屋外ランチ

食事は生命の源であり、健やかな身体と心を育んでくれる大切なものです。また、それは生活の中で最も楽しみなものです。

麻機園では、楽しい時を過ごして頂くためのひとつとして「屋外ランチ」を実施しています。毎年、桜が満開になる頃にはお花見をしながら、また新緑を満喫しながら園庭で昼食をとります。

普段と違った雰囲気の中、少人数制でゆっくり食事ができ、入所者同志の会話にも花が咲きます。「おいしいね」「風が心地いいね」「いつもよりたくさん食べちゃったよ」と喜んで頂いています。

これからも楽しく食事を提供出来るよう工夫してまいります。次回は、秋を感じながら「サンマ」に舌鼓なんていかがでしょうか？



麻機園 主任栄養士 三浦温子

### 「私の仕事」

加茂川清隆

私は仕事をする上で気を付けている事がある。それは『言葉によって相手を傷つけないように』する事だ。

働き始めのまだ二十代の頃、いつも明るく元気な利用者に、私は親しみを込めて冗談を言ったりつもりだったが、気分を害されてしまった。それから一週間謝り続け、やっと許してもらった苦い経験がある。『親しき仲にも礼儀あり』を痛感した出来事だった。

こちらは何気なく言った一言でも、相手を傷つけてしまつ事がある。だから言葉には日々気をつけている。

私は二十年以上介護の現場で働いており、考えさせられた事が沢山ある。私達の仕事はマニュアル通りにはいかない、とつくづく思う。慌ただしく過ぎて行く毎日だが、「おはよう」と笑顔で迎えてくれる入所者がいる。夜勤明けなどは、「昨夜はお疲れさま。ありがとう」と言ってくれる。疲れが吹き飛ば、ホツと癒される瞬間だ。

介護という仕事は慣れによって「やってあげている」という気持ちに陥りやすいものだ。しかし介護を通して、自分自身が成長していると感じている。これからも、人生の先輩という意識を忘れることなく、お世話をさせて頂きたいと思っている。

